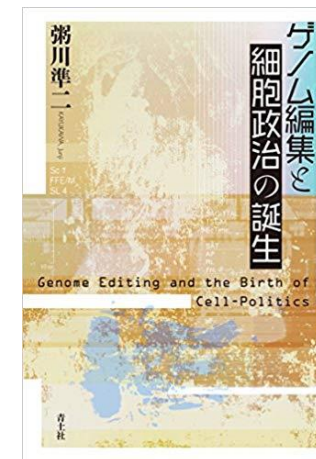


サイエンスライター・大学講師・**粥川準二氏** “東京・最後の授業、

日時:2月14日(木) 午後6時30分～ ゲスト・トーク:粥川準二さん

『ゲノム編集と細胞政治の誕生』とサイエンスライターの世界



出版ネッツのメンバーである科学ライターで大学講師の粥川準二さんが、この春、活動の拠点を広島に移すことになりました。「サイエンスライター」として独自のスタンスを確立し、「社会学者」や「ジャーナリスト」としても新聞やラジオ、Webメディアなどで発言・発信を続けている粥川氏。長年、その活動を見てきた者の一人として、この機会に同氏に、近著『ゲノム編集と細胞政治の誕生』などを中心に、サイエンスライターとしての活動等についてお話を聞いてみたくなりました。この1月に中国の南方科技大で、エイズウイルスに感染したカップルの受精卵に感染予防の遺伝子改変を加えて双子の女兒を誕生させていたことが明らかになったことを巡って生命倫理やゲノム編集への法規制についての議論が巻き起こっていますが、同書はいちはやく「STAP 細胞騒動」や「ゲノム編集」について言及しています。大学講師として生命倫理などの講義を行う粥川氏に、最新の情報を直接聴けるチャンスです。転居で東京を去る直前ですが、表題のようなテーマで、“東京での最後の授業、を開きたいと思います。

テーマに興味がある方はもちろん、出版ネッツ、出版労連加盟の組合員の皆様、どなたでも参加できますので、多くの方々にご参集いただきたくご案内申し上げます。（ネッツ読書サロン・児玉）



粥川準二 Profile 1969年生まれ、愛知県出身。「サイエンスライター」を名乗ることが多いが、「社会学者」や「ジャーナリスト」と呼ばれることも。著書『バイオ化する社会』（青土社）など、共著書『生命倫理とは何か』（市野川容孝編、平凡社）など、監修書『曝された生 チェルノブイリ後の生物学的市民』（アドリアナ・ペトリーナ著、森本麻衣子ほか訳、人文書院）。日本大学、明治学院大学、国土館大学非常勤講師。博士（社会学）。

- ・日時 2月14日(木)午後6時30分～午後8時30分(予定)
- ・場所 出版労連本部 会議室A(本郷三丁目) 住所:文京区本郷4-37-18 いろは本郷ビル2F
- ・参加費 無料

主催:問合せ:出版ネッツ読書サロン *参加ご希望の方は、できれば当日までに ☎090-8584-7262、eメール:gbb00600@nifty.com (児玉イサオ)宛て、ご連絡いただければ、幸いです。ただし、当日になっての直接の参加も受け付けますので、お気軽にご参加ください。*